



1\_ 金賞を受賞したフローリストやまおか「今、バリィでしょう」 2\_ 賑わう商店街 3\_ 高橋邸などで開かれた夏祭り美術館 4\_ 内子町長賞の上田オートの作品

## さまざまな作品や催しが夏を彩る うちこ夏まつり

本格的な夏の到来を告げる「うちこ夏まつり」は7月13日、内子本町通り商店街で開かれました。各店舗の商品などで製作した「造り物」が展示され、多くの人の目を楽しませていました。

最優秀賞の内子町長賞を受賞したのは、上田オートの「ヘラクレスオオカブト vs ノコギリキクワガタ」でした。店主の上田弘次さん（47）＝内子7＝は、「ネジやボルトなどを一つ一つ溶接しています。受賞はうれしいですが、出品者を増やしてもっと盛り上げたい」と話します。

その他にも防犯パレード、夏祭り美術展、和太鼓演奏、ストリートダンス、漫画の人気キャラクターに扮した商工会青年部員を探すスタンプラリーなど、さまざまな催しが行われました。また知清河原では約40年ぶりに花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。



うなぎを上手につかんでニコリ。

## 清流小田川を遊んで学ぼう 元気わくわく川まつり

豊かな川の流れ小田川から「学ぶ!」「遊ぶ!」をテーマに7月14日、豊秋河原で「元気わくわく川まつり2013」（同実行委員会主催）が開かれました。

参加した子どもたちは河川敷や五十崎自治センターに設けられた学習コーナーを巡回。水辺の生物などの学習をした後、たらいでの川下り、木登り体験、ウナギのつかみ捕りなどのレクリエーションを通じて小田川に親しみました。

## 昔ながらの川遊びで、川の大切さを学ぶ 立川地区親子ふれあい水辺のつどい

「第10回立川地区親子ふれあい水辺のつどい」（肱川流域水産多面的活動組織、立川自治会他主催）が7月21日、立川地区中山川で開かれ、120人が参加しました。

同行事は子どもたちに川に親しんでもらうことで、自然や生き物の大切さを学んでもらおうと、平成16年から毎年行っています。ハヤ釣り大会や投げ網教室、ニジマスとウナギのつかみどり、そうめん流しなどを行い、川遊びを満喫しました。



豪華景品目指してハヤ釣りに挑戦



自作のかかしを棚田に設置する参加者

## 棚田の米はかかしが守る 第1回かかし作りコンテスト

農山村らしい風景づくりを目的とした「かかし作りコンテスト」（泉谷地区棚田を守る会主催、上岡満榮会長）が6月30日、棚田オーナーを対象に泉谷地区の棚田で行われました。参加者は竹とわらを組み合わせて骨組みをつくり、古着や装飾品を飾り付け、個性豊かなかかしを制作。各オーナーが管理している田んぼへ設置しました。

最優秀の内子町長賞を受賞したのは、武知美穂さんグループの制作した桃色のかかしでした。



クワの実を採取して味見する児童たち

## 自然の中で友達との協同生活 小田深山集団宿泊活動

町内の小学5年生を対象に7月2～5日、小田深山で集団宿泊活動を行いました。小田・五十崎・内子地区に分かれ、それぞれ1泊2日の活動をしました。

同活動は集団生活を通じて、交流を深めながら基本的な生活習慣や自律性を育てると共に、自然を愛する心を育むことをねらいとしています。参加した児童たちは、山菜探し、ピザ作りや夕食づくりなどを協力して行い、元気に活動を楽しんでいました。



## 自慢の逸品・珍品の鑑定結果はいかに 「出張！ なんでも鑑定団 in 内子」

「出張！ なんでも鑑定団 in 内子」の公開収録が7月7日、内子座で行われました。

観覧には抽選などで選ばれた630人が集まり、会場は満席となりました。司会の石田靖さんと鑑定依頼人の絶妙な掛け合いに笑いと歓声が起こり、大いに盛り上がりました。

依頼人は町内外の6人。それぞれの自慢のお宝を中島誠之助さん、北原照久さん、増田孝さんが鑑定しました。最初に登場した永岡裕さん（32）＝上町＝は「お宝の鑑定結果を見るとときや石田さんと話すときは緊張しました。非常に貴重な体験をさせてもらって、お宝を持っていた父に感謝しています」と感想を話しました。

この模様は8月25日（日）の「開運なんでも鑑定団」で放送されます。ぜひご覧ください。



1\_大勢の来場者で埋め尽くされた内子座 2\_テレビでお馴染みの場面。鑑定結果は放送をお楽しみに。